

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	<災害対策> 毎月1回防災訓練は行っているが、併設する特養主体としてシブシブ、クレーン・ハシなど自らの訓練が不足。	自施設主体の防災訓練を実施し、災害に対応できるようにする。	・独自の訓練計画の作成。 ・他施設消防団との意見交換	3ヶ月
2	33	<重度化中経期への対応の難しさ> 施設での看取りを希望する利用者いるが、職員が教育体制が不足。	重度化した場合の対応も、看取りに関する知識を身に付け、理解し、対応できるようにする。	・勉強会の実施(OJT) ・外部研修への参加(OFF-JT)	12ヶ月
3	14	<同業者との交流を通じた向上> 交換研修など、予定を組んでいるが、実現できていない。(人員が足りないのため)	法人内でもよいが、他の重養所と1日単位で研修会を設け、見付け合えるようにする。	・交換研修の実施。 ・他施設の見学等の実施	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。